

臺灣總督府
臨時情報部

報部

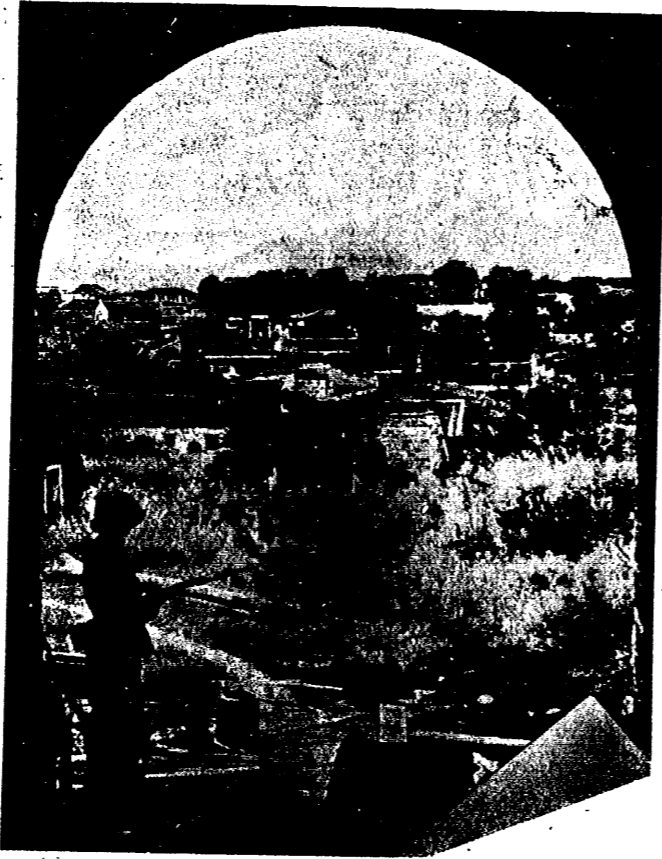
昭和三十三年九月十一日

附	華	海	地	事	經
錄				變	濟
事	僑	外	方	下	警
變				の	察
日	(((司	に
誌	時	時	州	法	就
	情	情	州	保	て
	報	報	廳	護	
	部	部	廳	事	
			時	業	
			務		
			務		
			課		

第三十八號

昭和三十三年九月十一日（十一月十一日、廿一日發行）





戦すんで

嚴たる皇軍の庇護の下に今は平和の裡に明け暮れる平和郷——
星子縣城
こゝは詩の山廬山を背に洋々たる瀋陽湖に面する武漢防衛の第一線に立つ要害の地……
旬日前敵前上陸は敢行され皇軍將士の尊く瘳き血潮に彩られた。
かくして戦果は廬山南麓へと展開された



帝國の理想と正義人道は漸く支那民衆の容るゝところとなり占領各地に反蔣運動澎湃として起る。

閣議決的蔣介石、何處に行く?
助射爲慮的宋美齡、
聯日與邦のスローガン!
支那民衆は叫ぶ(九・一〇濟南)

京漢線上の要衝といふより會での微戦に名高い石家荘も今や皇軍保護の下に明朗化し民衆は舉つて將の下野を望んで居る。(九・一五石家荘)

經濟警察に就て

警務局 警務課

一 經濟警察の誕生

帝國が暴支膺懲の師を進めてより既に一年有余此の間我が忠勇なる皇軍將士は北支に南支に或は中支に於て常に寡を以て衆に對し凛烈の寒著を冒し不利なる地形に在りながら凡有困苦に堪へ連戦連勝赫々たる威武を中外に宣揚しつゝある。而も聖戰の前途は尙甚だ遼遠である。戰爭には終局の勝利を得なければならぬ。終局の勝利を得る爲には國家の凡有人的物的の資源を動員し國家の總力を以て戦ふの外はない。昔日の戰爭の如く軍人が戦地に於て敵を殲すのみでは現時の複雑高度化した戰爭の終局は望めない。世界大戰に於て戦線に於ては外敵をして一步も國土を蹂躙せしめなかつた獨逸が終局に於て敗れた事例は雄辯に之を物語つてゐる。戰爭には金が要る、ナポレオンは戰爭に最も必要なものは何かとの間に答へて一に金、二も金、三も金と言つたと云ふ、金は戰爭に必要な物資を求める爲に必要なのだが金があつても物資が缺乏して居つては之を調辨する事は出来ぬ。軍人が如何に強くとも戦需を充たすに足る物

資がなければ空拳では戦は出来ぬ、軍需の充足は戦勝の最大要因である。

戦場に於て敵に捷つは軍人の任務であり戦争に必要な凡有物資的需要を充すは銃後國民の責務である。即ち現時の戦争は戦場に於ける軍人と銃後の國民とが一體となつて當たる國家總力戦であり、戦時に於ける銃後の國民の立場は將に此の國家總力戦の一半を負擔する銃後經濟戦場の將士であらねばならぬ。

然り而して銃後經濟戦場の將士としての國民は如何なる命令に依つて如何なる方面に向つて前進すべきであるか、政府は此の經濟戦に於ける國民の嚮ふべき經濟活動の前進方向を次々と國民の前に示してゐる。即ち或は生産機構の擴充を奨勵し或は物資製造を制限し配給を統制し消費を節約せしめ使用の禁止を命じてゐる。金融の調整も輸出入の制限禁止も産金の奨勵も其の他凡有經濟活動に付て之を統制結合し一に戦勝といふ最高目標に向つて前進しつゝあるのが我國の現状である。經濟戦の將士たる國民は全員舉つて此の政府の示す方向に向つて堂々と邁進しなくてはならぬ。戦勝の目的の爲に一人の専念をも斷じて許すことは出来ないのである。

然し乍ら斯の如き經濟統制は我が國としては今次事變に際して始めて經驗する事である。而も其の經濟戦場の前進命令たる經濟統制法令は其の數に於て其の範圍に於て頗る多種廣汎である爲め、或は命令を知らずして前進方向を違へる者もあるであらう、又不用意の間に違反の道に踏入る事もあらう。更に又知り盡し乍ら敢へて違反する者無しと斷言は出来まい。若し斯の如く統制を紊る者があつては經濟戦場の將士たるの責務を果すを得ないのみならず、延いては

國家總力戦の一半に於て敗れ戦場の勇士の努力を空しくしないとも限らないのであるから、斯の如き事なき様に之を指導し之を取締るの必要が生じ一面惡質の違反者に對しては斷乎として之を檢舉するの必要も生じて来る。

即ち今や我が銃後の國民は前古未曾有の大聖戦に際し政府の示す經濟統制法令に服して以て戦勝目的を達成せしめなければならぬ。非常時に於て國民に此の命令違反の行爲なからしむる爲の目付役として新しく世に現れたのが所謂經濟警察である。斯の如き必要に基き生れた經濟警察は具體的に如何なる活動を爲すのであるか、其の事務の内容は如何なるものか以下少しく之を述べよう。

二 經濟警察の内容と活動

經濟警察は前述の様に經濟統制法令の實施を確保し以て經濟戦に於ける國民の活動を誤らしめない爲の目付役として生れたもので之が爲め臺灣では警視一、警部五、警部補十二及び巡查二百二十五名を増員せられ經濟警察に専従することになつたのであつて、即ち其の任務は經濟統制違反の豫防取締と違反者に對する檢舉とが主たるものであるが、此の任務を完全圓滿に果す爲には之に附隨して行ふべき事項や本來經濟警察の性質に屬するものではないが、現在行政機構の上から考へて便宜上警察の事務として分擔せしめられたものもある。従つて其の事務の内容は大體次の三種に分つことが出来ると思ふ。

(一) 經濟統制法令違反の豫防並に檢舉

戦線の長さに於て動員兵員の數に於て、將又戰闘様式に於て古今東西を通じて未曾有の大戦争を遂行しつゝある我國統後の國民が前述の様な各自に課せられた重要な責務を自覺し政府の規定する統制法令に服するは勿論進んで自己の業務を通し力量の凡てを盡して之に積極的に協力援助するは日本國民として當然の事であり、總ての國民は斯くあることを信じて疑はないのであるが、前にも述べた様に統制法令が廣汎複雑であるから、日常社會生活に忙殺せらるゝ國民の中には或は法令の徹底しない者もあるかも知れないので、經濟警察は知らざるを教へ辨へざるを導き、誤つて違反することなき様犯罪の豫防的指導に特に力を用ひ取締をなすのである。

然しながら經濟統制は日常國民生活と密接不離の關係があり、其の影響する利害が大きい爲に中には悪い事とは知り乍らも利己心の摘となつて違反行爲を敢てする非國民的分子が無いとは限らないのであつて、萬一にも斯様な惡質違反者があれば假借なく檢舉し其の不心得を糺彈せなければならぬのである。

此の豫防的指導取締と違反者の檢舉とは經濟警察の最も主要なる内容であり事務である。

(二) 經濟情報の蒐集

民心の歸趨を明にし社會の情勢を詳かにすることは警察上の重要な事柄であるが、殊に現下の如き從來の自由主義經濟から統制經濟に移り國民經濟に重大なる變革を來たし日常生活に

も密接な利害を及ぼすに至つた時に於ては特に常に査察を行ひ情報を集め經濟統制法令施行後の社會の實情を明かにすることは經濟警察上緊要なるは今更申す迄もない處である。

(三) 特殊物資の配給

現在ガソリン及重油の配給事務を警察にて擔當してゐる、是等は本來經濟警察の範圍に屬するものではないが行政機構の便宜上警察事務として分擔せしめられ實施してゐる次第である。

三 主なる經濟統制事項

經濟警察が何故必要になつて來たか、如何なる内容を以て如何に活動するものであるかに就ては是迄に述べた通りであるが、然らば經濟統制法令は如何なる事項を規定するのであるか前にも述べた如く極めて廣汎であるが、其の主要なるものは大體に於て戰需の調辨及輸出入貿易の調整を目的とする物資の配給及消費の統制と價格抑制の二方面に分ける事が出来る。以下之等に就て概説を試みよう。

(一) 物資の配給及消費の統制

戦争は最大の消費である。戦争には莫大な物資を要する。此の莫大な物資を必要に應じ供給することは現在の生産機構では容易な業ではない。原料不足で彈丸が製造出來ないからと云つて彈丸を打たない譯には行かない。寒中裸では戦争も出來ない、勢ひ國民の消費を節約して軍需に振向けなければならぬ、生産原料の足らないものは外國から輸入しなければならぬ、外國から輸入しただけでは國際收支の均衡が取れないから、輸出もしなければならぬ、輸出品

の原料を輸入し之に加工して輸出する事にもなる、輸入原料を國內向製品に製造しては困る、輸出品として生産したものを國內用に流用してはならない、造りたい建築物も差控へ鐵鋼の消費を節約して軍需に振向け、食用に供した豚皮も之を革にして軍用資材とせねばならぬ。着物もス・フで辛抱しなければならぬ、是等の事を國民に望んでゐるのが物資の配給消費に關する統制法令であつて「輸出入品等ノ臨時措置ニ關スル件」と云ふ法律が基本となり、之に基いて臨時輸入許可規則、鐵鋼配給統制規則、鐵鋼工作物築造許可規則、毛製品ステールファイバー等混用規則、皮革配給統制規則、皮革使用制限規則、其の他多くの法令が施行されてゐるのであるが、之等に違反したものは輸出入品等の臨時措置に關する法律の罰則に基き嚴重なる處分を受くる事になるのである。

(二) 物價騰貴の抑制

戦争には莫大な物資が要り、物を買ふ爲の金が要る、戦費は豫算を以て豫定されてゐる。戦争によつて物が消費されるに従つて自然の儘に放任して置いたのでは著しき物價騰貴を來たす、そうなるに既定の豫算を以て必要な軍需品を調達することが出來ない。輸外向製品が高くなつて輸出が不振になる、更に最も深刻な問題は中産階級以下の日常生活を脅かし國民生活に不安を與ふる事になるから之等の影響を考へるとき物價騰貴の抑制は戦時經濟對策の重要事項であることが判る。之を爲さしめない爲に「暴利ヲ目的トスル賣買ノ取締ニ關スル府令」がある。

同府令は暴利を得る目的を以て同令第一條に掲ぐる金屬及其の原料並に金屬製品以下約三十種目の諸物品の買占め又は賣借しみをなし或は暴利を得て夫等の物品を販賣し若は販賣せんと

するもの、不當の報酬を得て夫等物品の販賣を媒介し又は媒介せんとする者と認むる場合に對し期間を定めて警告し、尙必要と認められた場合は所要の條件を附することも出来る。

又販賣業者は地方長官に於て特に指定した物品の外は全部の商品につき見易い所に價格を表記し店頭に掲示し其の他容易に之を了知し得る方法を以て表示せしめることになつてゐる。此等の規定に違反した場合は嚴重に處罰せられるのである。

然しながら價格の騰貴抑制に關する統制の方法としては之だけでは手緩いので内地に於ては、物品販賣價格取締規則を制定し、大體支那事變前の價格に引下げる事を目標として價格統制に乘出し既に綿製品、麻製品、家庭用又は浴場用石炭、肉類、氷、アルミニウム製品、多數の工業製品、ゴム製品、材木類其の他物品多數に付て物品の最高價格を定めてゐる、臺灣に於ても内地に準じて取締る必要上九月十三日附府報を以て同様の規則が發布せられたのであるが價格の抑制に就て大切な事は一般國民が一致して其の心組を以て物品の購買に當ることである。

四 結

語

以上は經濟警察の大體に就て述べたのであるが、經濟警察の立場から一般國民大衆に希望することは「國民の經濟警察に對する協力」である。勿論如何なる警察事務に關しても同様國民の協力を望むことではあるが、今次の經濟警察が聖戰に對する崇高なる國民の義務の履行を要請するものであり、其の成否は直に國家の戰勝目的の遂行に影響する重大なる事項であるから、一層此の感を深くするものである。



事變下の司法保護事業

總督官房法務課

暴支膺懲の聖戦に参加せる皇軍はあらゆる困難を克服して陸に海に空に赫々たる武勳を樹て、既に占領地には親民政権の樹立を見、日滿支三國の緊密なる提携による東洋永遠の平和建設が着々と進められつゝありますことは、偏に御稜威の賜でありますと共に、我が忠勇義烈なる將士の奮戦力闘によるものとして、我等國民の等しく感激措く能はざるところであります。就ては銃後に在る我等國民は愈々和協一心銃後の護りを堅くし、前線將士をして絶對後顧の憂なからしむるの要あることは申すまでもないことであります。

就中、司法保護事業は、社會の安寧秩序を維持し、明朗な住みよい社會建設をめざして誕生したものでありますので、現下の時局に於ては、益々その重要性を加へつゝあるのであります。即ち今次聖戦の大目的達成のためには、將來、尙幾多困難の横たはつてゐることは想像に難からざるところで、これを克服するためには眞に舉國一致の實をあげ、我國民中一人の反國家反社會性を有するものがあつてはならぬのでありますから、被保護者を善導し、再び罪を犯

さしめざるは勿論、時局を正しく認識せしめ、進んで一般國民と歩調を合はせ、時難克服に參加せしめるといふ大目的を達成しなければならぬのであります。

これに關して喜ぶべき現象は、時局の重大性に湧き立つ全國民的な愛國の熱情の正しき報道と行刑の任に當る人々の適切なる指導によりまして、本島刑務所收容者達も作業報國の精神旺盛となり、この事變に皇民としてこの自覺を深めつゝあります。中には國防献金の申出、釋放後の軍夫志願をなすものあり、或は少數の内地位人收容者中召集を受け、仮出獄又執行停止の取計により應召した者もありました。

去る九月十二日夜の總務長官の放送にもありました如く國家は犯罪に對し刑罰を以て莅み、罪を犯した者には法律の定むる制裁を加ふるのであります。行刑の目的とするところは所謂「刑は刑無きを期す」で、釋放せられた後、再び犯罪を累ねることのないやうに、指導教育して社會生活の適格者に仕上げ、善良なる市民として社會に更生復歸せしめやうと努力してゐるのでありますから、一部改善困難なる者を除きまして、大部分は眞面目な生活に入らうと決心して釋放されるのであります。一度社會に復歸して見ますと、社會では「あれは前科者だ」と相手してくれず、甚だしきに至つては、その親族故舊までが、その出入を差止めると言ふことさへあるのであります。又漸く職についても、不圖した機會に前科が災して失職せねばならなくなると、元來意志の弱い釋放者は、刑務所で充分自覺が出来、更生を誓つて社會に復歸しても、餘りに社會は冷酷だと、自暴自棄に陥り、再び罪に轉落する場合も少くはないのであります。



部 報 情 時 臨 廳 · 州

支那事變に關し執りたる措置

臺南州臨時情報部

一 愛國婦人會臺南州支部の活動

今次事變勃發以來當州支部は役員並に會員克く協力一致各種團體連絡提携の下に機を失せず使命達成に邁進しつゝ、ある状況にして、事變勃發以來之が爲め離出せる金額既に六萬五千餘圓を算せり。昭和十三年五月以降に於ける支部活動状況左の如し。

- (イ) 五月七日出征第〇〇〇〇〇部隊將兵を慰問し慰問品（見積價格五百圓）を贈呈せり。
- (ロ) 五月二十三日出征中の〇〇〇〇〇に對し慰問袋（見積價格八千六百二十四圓）を各分會より離集送付せり。
- (ハ) 五月三十日出征第〇〇〇〇〇部隊將兵を慰問し慰問品千人針、日の丸手拭、下帯（見積價格六百二十九圓）を贈呈せり。
- (ニ) 九月二日出征中の〇〇〇〇〇に對し慰問袋（見積價格九千四百三十四圓）を各分會より離集送付せり。

これを社會の側から見ますと、自分の冷たい眼で、再犯させるやうなもので、極端に申せば社會の蒙る犯罪被害は社會の自業自得といふことが出来るのでありますから、釋放者を嫌疑排斥する態度を是正することが最も必要だと信ずる次第であります。かくしてこそ、共存共榮の住みよい社會が出現することとなり、現時の重大時局下に於ける人的資源確保の國策に沿ふことが出来るのであります。

更にこれを將來に就て考へますとき、戦後思想の動搖、財界の變動等による犯罪の激増は、歴史に徴して明らかでありますから、これが對策として、司法保護事業の強化を計り、戦後に備へて萬遺憾なきを期せねばならぬのであります。これは單に斯業關係者の努力だけでは到底その目的を達せられぬので、社會人全體の理解、援助によらねばならぬのであります。この意味に於て去る九月十三日の司法保護記念日を中心として、全島に司法保護思想の普及徹底を圖るため、各種行事が、極めて眞剣に意義に實施せられたのであります。戦時並に戦後に於ける犯罪防止、進んで釋放者に國民としての自覺を與へ、以て國家の總力戦に参加せしめるといふ司法保護事業の眞使命を理解せられ、その目的達成に協助されんことを要望する次第であります。

(水) 九月三日出征第〇〇〇〇部隊將士を慰問し千人針、煙草、(暖)筆、タオル(見積価格四百八十二圓)を贈呈せり。

(へ) 九月四日第〇〇〇〇〇〇隊を慰問し菓子(見積価格百八十五圓)を贈呈せり。

(ト) 九月五日〇〇陸軍病院娛樂室に於て傷病兵慰安會を開催せり。

二 國庫債券の應募指導

支那事變國庫債券(イ號)及第一回支那事變特別國債は昭和十三年八月二十二日各郵便局より一齊に賣出されたるが州民統後の燃ゆるが如き愛國の熱誠は二十三日臺南郵便局を最後に悉く賣盡され遺憾なく舉州一致統後報國の赤誠を披瀝する所ありたり。尙郡市別應募狀況左の如し。

國庫債券應募狀況調

市郡別	人員	金額
臺南市	七八	三、八一〇
嘉義市	三三	六、〇〇〇
新豐郡	三八	六、六〇〇
新文化郡	七三	七、二〇〇
北門郡	六九	三、四〇〇
營門郡	一〇	五、七〇〇
新營郡	八二	七、三〇〇
嘉義郡	二一	四、二八〇
斗六郡	九四	三、五五〇
尾寮郡	八六	五、六〇〇
港尾郡	八	七、五〇〇
石碇郡	三四	二、三五〇
計	八一六	七九、六〇〇

三 産業組合取扱の國民報國貯蓄及公債買入額

本州國民報國貯蓄中産業組合に於て七月末日迄に取扱へる貯蓄額は三九、九五三・三七圓貯蓄人員五八、九〇二名に達し、公債買入額四二、二〇二・三圓に上れり。

四 臺南州應報國勸勞奉仕隊 農業報國作業の實施

臺南州應報國勸勞奉仕隊に於ては八月二十七日午後三時川村隊長以下隊員六百十三名は州廳中庭隊旗の下に整列點檢信條合唱の後直に耕作地に向ひ各小隊毎に受持區域の除草耕鬆整地等をなし同五時半夫々豫定の作業を終了し各小隊毎に解散せり。

五 防空座談會の開催

本州に於ては今回開催せられたる防空講習會の講師滿富事務官の來南を機會に九月三日午後四時より本州會議室に於て防空座談會を開催、川村知事以下州廳關係職員、臺南市尹、臺南警察署長、臺南、嘉義市防空係員、臺南市防衛團分團長其他關係職員二十餘名出席、防衛團其他に付懇談を遂げ同六時散會せり。

六 戦傷者の慰問

昭和十三年九月七日午前九時半川村知事は總督代理と

して〇〇陸軍病院に中支戦線名譽の戦傷者を見舞、總督よりの慰問金を傳達せり。

尙知事よりも金一封を贈呈慰籍する所ありたり。

七 支那事變映畫の巡回映寫

支那事變映畫の巡回映寫第二十四回を實施せり。

銃後の新竹

新竹州臨時情報部

戦時下に於ける國民經濟講習會開催

戦時下に於ける我國民經濟の特異性並に之れに關する諸方策を理解し、一般民の指導に誤りなきを期するは非常時に處する公務員の責務たるを以て、州廳職員全員に對し内務部長を講師とし講習會を開催し時局認識上裨益する處ありたり。



海外情報

臨時情報部

一六

秋冷の戦野に夏姿の勇士

— 焚火懐しく元氣百倍 —

訪れるに早い大陸の秋は九月中旬さいふのにもう内地の十月の氣候で、透明な陽ざしの中に秋風は高粱の葉裏を返してさら／＼渡る。〇〇部隊進撃中の淮南平野沿道の風景も秋景色で黄金の波打ち、もう取入れを始めだ。数日前迄の百十餘度の猛暑もすつかり衰へこのごろでは日中でもせい／＼八十度前後になり大陸氣候の關係で朝夕は恐ろしく冷え込み明方なき氣温が五十度以下に

低下し毛布一枚では寒くて眠れぬぐらるだ。淮南戦線の勇士は毛布を以てをらず軍服にシャツ一枚の夏姿なので夜間なきは農家の軒下や露を含んだ藁に藁を積上げて藁蒲團を作つて、その中に潜り込み、かたはらに繋いである軍馬に小便をかけられやうやく目が覺めた云ふ喜劇もある。行軍もよほさ樂になり水筒も水を朝詰めておけば一日中大丈夫、数日前まで泥水をがぶ／＼呑んでゐたのが夢の様に思はれる勇士達の元氣は百倍加して來た。澄切つた秋空にやうやく渡り鳥の姿が見られ露營の朝なき寒さ凌ぎの焚火が懐しくなつて來た。

敗戦を尻目に

要人が金儲け

香港には今支那要人七十餘名が入込んでゐるが、宋子文、孔祥熙等の浙江財閥の如き事變勃發以來香港を根拠に飛行機を始め軍需品、米輸入の爲特殊會社を創立し關稅免除で一儲けして居る。即ち飛行機一臺の陸揚賃だけでも百元以上を儲けて居る。又佛印より米輸入の爲華南米穀公司を設立して年五十萬擔の米を輸入し輸入税一擔當り三圓五十錢を免除されるので其他の儲けを入れる三年に米穀だけでも二億萬元の儲けがある譯で彼等一族は戦争のお蔭で益々肥る許りである。斯の如く裏面に於て不法を働いてゐるので假令漢口を陥れ又何處を攻め落しても支那は却々へたばらない。戰の終結は徹底的に浙江財閥をやつつけなければこの結末はつけられない。

香港避難民の現状

廣東其の他から香港に避難した支那人は一時五十萬人を算へたが物價高で生活難に陥り、中流以下のものは廣

東其の他へ引き揚げたので現在三十五萬人位である。彼等避難民にののやうな抗日映畫又はデマニュースを見ても蔣政權のやりくちが判つて來たので効果が薄い。寧ろ真相を把握すべく東京よりの國際放送に注意を拂つて居る様である。

奇怪なり!

「媚殺隊」の出現

江北戦線に之は意外「媚殺隊」云ふ奇怪なる姑娘が現はれた。支那軍の敗戦に次ぐ敗戦に業を煮やした新女性達が「男つてさうしてこんなに意氣地がないんだらう」得意の媚で日本軍を釣り出して命を奪はう云ふ大膽な事をやり出した。こちらが小部隊で見ると道の傍の高梁の中から首を出してニコ／＼微笑みかける。うつかりついて行くミバンミピストルかなんかでやられる云ふのだが、日本軍の兵隊はその手は心得たもので決してこの手には乗らぬ「此奴は怪しい」と睨んだら早速二、三名誘ひ合せて一人は囚まなり他の同僚はそつと潜み隠れて

一七

その行方を見届けるに、果せるかな二、三人の女がかたまり集つて、あはやみ云ふ利那反對に全部捕虜にして終つた。

これは固始から光州に通ずる道路上での出来事であつた、彼の女等は何と遙々漢口から蒋介石の訓示を受けて来た、愛國前線女性隊だに意氣軒昂して語つた。彼等の仲間は百名にも達し此の前線に出没して居るに云ふ事である。

抗日軍の一面を物語る

——支那軍参謀中佐——

我が太田部隊は過日官舎で逃げ遅れた支那將校一名を捕へた。早速身體検査をするにポケットから廣西軍百七十六師中佐参謀の名刺其他重要書類が現はれた。大ものだに小躍りしたが阿片中毒にかゝつて足をぶる／＼震はせ命だけはミペコ／＼する態度が支那軍の参謀にしても可笑い。嚴重追究するに正に將校は將校だが去る一月まで徐州で煙草屋の主人だつた王成壁(三三)に云ふ男で兵

一八

隊は金儲けが出来ると云ふので友人の世話で贈賄して將校になり六月には忽ち中佐参謀となり、間もなく廣西軍百六十七師に編入されたが俄將校で化の皮がはがれそうになつたし敗戦にすつかり怖氣つき、給料さへろくに渡らぬので金儲けどころか命まで危い逃走途中、支那軍につかまつた時の用意に中佐の名刺を作成したに云ふ何處までも支那兵らしいインチキ振り、之に我勇士達も支那軍参謀の正體見たり、一齊に噴出した。

情けない支那軍の新兵

——戦線に行くは怖いとて暴動——

打續く敗戦の爲兵員補充に狂奔せる支那軍は各地に於て、強制募兵を敢行して現下の難局打開に努めつ、あるが、最近南昌方面の防備強化に充つる目的を以て募集した新兵を豫備第六師に引渡す爲延平を出發したるに該新兵は極端に戦線に参加するを懼れ且つ其の待遇の劣悪なるを痛く憤慨して突如暴動を起し逃亡を企てた。其の中七十三名は漸く之を取押へたるも十名は逮捕の際監督

員に絞殺され十五名は負傷した。聞く所に依るに新兵の引率者たる黄某は唯さへ少なき新兵の給料を途中に於て着服し私腹を肥しつ、あつたもので、今次の暴動勃發に依り舊態露顯して嚴罰に處せられた。

残忍極まる

——中央軍督戦隊——

去る八月十二日富金山一帯の殘敵掃蕩の際敵掩蓋機銃座に敵機關銃士数名が生木に足を釘付けされたま、我が砲撃に斃れてゐるのを發見した。右は標識に依り馮治安の三十七師所屬兵に判明したが我が倉林、添田兩部隊の猛攻に耐へず退却せんとして中央軍督戦隊のため釘付けになつたもので上海戦に於て督戦隊が第二線兵士の退却防止に鎖をもつて足を縛り付けトーチカ内に密閉した例もあるが生身の兵士を釘付けしたのは始めて、鬼畜にも劣る残忍極まる敵督戦隊の暴虐は驚くばかりである。

鐵路に描出された

地獄圖繪

武漢攻略の意氣に燃える我が大別山系北麓部隊の猛進出に黄河北方我が北支軍の壓迫に依り今や京漢線の運命は風前の燈に化し沿線一帯の敵の狼狽振りは實に甚しきものがある。鄭州漢口間の急行のうち鄭州行の混雑は實に殺人的で僅に身の廻りの品だけ持つ男女が僅かの定員ものかは死物狂ひで殺到、吾れ先に乗り込む爲め餘り以上である。此れ等は皆避難民であるが鄭州から西安に逃れ行くもので更に陝西省から四川省の奥地に行くものらしい。漢口行の列車は大抵食料列車で之又大混雑である。今漢口は恐るべき食糧難で此の死物狂ひの食糧補給も焼石に水の感を呈し食糧の奪ひ合ひが隨所起り隘路を前に京漢線上は文字通りの地獄圖繪を描いて居る。

慘澹たり混亂の程

——汕頭の近況——

日本軍の占領區域の支那民衆は安居樂業を謳歌してゐるが支那軍の横行してゐる地方の支那民衆は掠奪を事し

の、捕虜になるものあり支離滅裂の態である。

ソ聯依存の愚

——米紙國府に警告——

支那は共産黨や自由主義者達に縋らないで先づ第一に自らのために盡すの念を養はねば駄目だ。支那が頼みこしてゐるスターリンが積極的に支那を援助する意志の無いことは明白でソ聯はチェッコ問題に關しても深入りすることは好まず條約上の義務を免かれるため成るべく英佛をして問題を解決させよう圖つてゐる。スペイン問題にしてもソ聯の援助は精々數名の士官を送るに留り戰爭に訴へてまで政府軍を援ける腹は無いのだ。支那はこの事實に目覺め他方本願を捨てるべきであらう。米國ニューヨークデリーニユース紙は社説に「スターリンは支那」を題して支那側の他方本願主義の無力を指摘し速かにソ聯依存の迷夢を醒せし警告をしてゐる。

漢口の小學生桂林に移送

武漢攻略を前にして駱駝の分捕りは今後の戦闘もらくだミ部隊では大喜びだ。

抗日戦備

——正規軍死傷者百六十萬——

事變勃發以來支那軍の蒙つた損害は莫大な數に達してゐるが、先般武漢地方警察協會長潘定忠の齎したところによれば支那軍の死傷者は正規兵のみで約百六十萬に上る云ふ。國府軍當局は之が補充に懸命で、湖北、湖南兩省では一縣二千名の割當で徴兵に躍起となつてゐるが重税の負擔ミ打續く戦敗によつて壯丁は續々逃亡しこのため國府當局は脅迫的手段を用ひて同地方に殘留する少年或は中年以上の男子を徵集し辛じて員數のみを整へてゐる有様である。斯くて徵集兵士は僅に數週間の形式的訓練を経て直に前線に送られるが精銳なる日本軍の猛進撃に一たまりもなく潰滅しつゝある。昨今徵集される兵の訓練の不充分ミ素質の低下は著しく、その上兵器の補充も意の如くならず防禦力は事變當初の支那軍ミ比して

する軍隊に怯えて昨日は東、今日は西へミ流浪の哀れな生活をしてゐる。最近汕頭の住民は保正や甲長を先頭に奥地へ奥地へミ避難してゐる。然るに支那官憲では避難者は捕へて嚴罰に處する命令を出し、又一方には日本海軍を撃退したミか等のデマ宣傳に依つて人心の安定を計つてゐるが度重なるデマ宣傳に最早耳を傾ける者もなく、反つて近頃ではこれらデマニュースの反對の意味まで考へるやうになり、日軍來攻近シミ益々恐怖に怯え切つてゐる。その上コレラが流行し病死者多く慘澹たる有様である。

かゝる状態であるから支那兵の中には日本軍の來攻ミコレラにすつかり震へ上り、鐵砲を持つたまゝ逃亡する者も續出してゐる。これら逃亡兵は民團軍に加入したり銃器を買つたりした爲民團軍はこれが爲に大に勢力を得て盛んな結團式を擧げたりしてゐる。

支那軍憲では捨て置けず討伐するミはいつてゐるが一向討伐しないので戰爭に反對してゐる民團軍は反つて支那軍討伐に向ふので支那軍はすつかり驚き降参するも

支那側報道によれば漢口の小學生約四千名は十五日廣西省桂林に送られて來た。この他の兒童も重慶或は長沙へミ分散されたが文化教育施設の各地分散は今後の國府各機關の動向を豫測されてゐるものミして興味深い。尙これらの教育施設はすべて軍事設備に使用されるに至つたがため武漢の軍事都市化が愈々實現されたわけである。

漢口戦もらくだ

——珍らしや迷子の駱駝を生捕る——

由來軍馬代りの駱駝が戰場に御目見得するのは沙漠や草原の多い北支戦線に限られるものミ思はれてゐるが去る瑞昌戦で石本部隊の一軍夫が偶然にも路傍に迷子一匹の大駱駝を発見、直ちによきもの御参なれミばかり手綱を分捕つてきた。さうしたはずみで揚子江を越えて來たものかミ部隊以下色々考へた揚句が結局北支戦線を取れた敵軍が皇軍に追ひつめらるゝミ、もに軍馬代用にしてゐた駱駝をつれて南下したものと判明、それにしても

これは全部内地に送られ日艦に買却されてゐる。北支は元來優良な鐵資源を有し土法による生産が各地に普及してゐるだけに今後の蒐集成績は相當期待されてゐる。

學園の赤心録

七月分

- 一、慰問袋總數 九、六〇二個
- 一、慰問金 三三、四〇圓
- 一、慰問文 二〇〇通
- 一、其の他の慰問品：扇 二、〇〇〇本
- 圖 講 一、三〇四枚
- 寫 眞 一四三枚
- レコード 一〇七枚
- 雜誌 一三九冊

格段の隔りがある。國府は今まで軍人の家族の武漢地方以外に居住するをゆるさず事實上前線將校に對し人質政策をこつて來たが最近前線でも武漢の陥落はたゞ時間の問題である事を知り、連日の日本空軍の爆撃の報を聞き前線將校間には家族を内地に避難させよとの要求が起り若し之を拒否すれば如何なる事態が発生するやも計り難いので遂に國府では之等將校家族の重慶、昆明移轉を許したが彼等の任意旅行を許さず居所を變更する場合は必ず届出を要する事とし依然として拘束を行つており餘後状態は全く支離滅裂を極めてゐる。

北支でも屑鐵蒐集

内地に於て屑鐵蒐集の國民運動が展開されてゐるのに協力し北支に於ても京津地方を始め山東、山西各鐵道沿線に於て屑鐵の蒐集が行はれてゐる。右に當つてゐるのは三井、三菱の二商社で他に真鍮及び鋼、合金に對しては大倉組が當局の許可を得、買集めを行つてゐるが本月開始以來既に屑鐵だけで約一萬噸の巨額を集め得た。



臨時情報部

金賣却して我が國策の線に沿ふ

「金を政府に賣りませう」。ミいふ金報國運動は日を追ふて各地共熾烈となりつゝ、ある折檣臺北華僑も金への愛着を一擲して我が國策に協力して居る。因に賣却高六千二百十三圓十錢賣却人員二十九名であるが主なる者左の如し。

- 二、六二八圓楊文徒、一三二一圓何再來、二四九圓吳起銓、二二八圓王提、二六〇圓楊水漲、二五〇圓李書佳、一九〇圓林行生、一五九圓雷分場、一四九圓李增官、

島

一 基隆華僑公會

東洋平和の爲にと

皇軍慰問金七百圓

基隆華僑公會では茲に厦門皇軍慰問團を派遣し慰問金慰問品を贈呈して一筋に皇軍への感謝と東洋平和の念願に邁進したが更に去る十三日、同會囑託何玉燦は皇軍慰問金七百三十圓を携へ來北、臺北總公會を通じ獻金方を依頼した。

二 臺北華僑

三 新竹華僑大會

慰問金義捐金を即座に醸出

新竹華僑公會では去る八日午後八時市内城隍廟に於て會員八十四名出席の下に華僑大會を開催、皇軍慰問金、黄河決潰罹災民救済義捐金募集に關し打合を爲したが、何れも欣然に賛意を表し忽ち九十三圓集つた。尙五日の役員會に於ても七十圓集つたので合計百六十三圓を近く臺北總公會宛提出することゝなつた。

四 斗六華僑公會獻金

斗六華僑公會々員等は吾等が幸福に暮せるのは全く日本政府のお蔭だに感謝の念に燃え十一日自發的に會員一同より金百三十圓を醸出して國防獻金をなした。

五 竹南華僑

日本精神に感激

古莊軍司令官は二日親しく僻遠の地竹南郡南庄に到り、護國の華故陸軍歩兵伍長神谷猛の遺族を弔問せられ

た。これに對し同地在住華僑邱文理は感激の面持で左の如く語つた。

今回の支那事變に於て日本軍の勇猛果敢なる行動には驚嘆して居たが、先日軍司令官の戦死者遺族弔問に就て日本軍の強い理由に日本精神の美しさを知つた。

一兵卒の戦死に對し軍司令官の様な方が田舎の隅々迄も一々鄭重に其の遺族を弔問せらるゝことは吾々支那に於ては想像も及ばざる所であつて感嘆に堪へざる次第である云々。

島 一 全九州の華僑民團聯合會生れん

近く第一回支國民座談會

日支、日蘭史料の首都長崎に時局の脚光を浴び全九州の權威者を網羅して日支史料調査研究會を結成すべく古賀十二郎翁並に増田長崎圖書館長主唱の下に長崎新華僑民團、長崎醫大、長崎高商、各種神學校及一般市民の代表者から成る第一回支國民座談會を開催するが同座談會の結果如何によつては全九州の華僑民團聯合會

を結成し、日支史料研究の完璧を期する方針でこの着實な國際的基礎工作は關係各方面の好評を博してゐる。

二 親日教科書に先鞭

大阪川口の振華小學校では在日華僑小學校に率先して新學期から北支臨時政府の新國定教科書を採用、十三日の學期始めから七十餘名の學童は一齊に新しき教科書で勉強することゝなつた。

この新國定教科書は北支臨時政府が今までの抗日教育方針をすつかり改め東亞の和親に協力を理想として作られたもので

一年、二年生の初等算術教科書等は何れも色つき挿畫入で修身、歴史、國語、常識教科書にも全部根本的な修正が加へられて居る。

三 福岡縣華僑役員會

福岡縣下在任の華僑第一回役員會は福岡市東中洲福心堂で七日午後一時から開催、縣下の各支部長、理事九名縣から外事課長が出席、協議の結果、畑軍司令官に宛、

皇軍の勞苦を謝し併せて漢口陥落の日の一日も早からんことを祈る旨の打電方を可決、同時に漢口陥落を機として定期總會及祝賀會を開催する旨可決、三時散會した。

四 抗日戦に獻金する

華僑は斷乎追放(暹羅)

暹羅政府は曩に國立學校の支那人教師全部に對し教壇から排日宣傳を爲すの理由で免職したが更に同國內で抗日戦の爲め國防獻金運動を起す事を禁止した。此を犯して國外追放處分を受けた華僑は既に百二十五名に達してゐる。

五 馬來政廳

排日取締峻烈(新嘉坡)

當地抗日秘密結社に加へつある當局彈壓の手は抗日華僑團側躍起の運動にも不拘愈々峻烈を極め前號記載の如く王、粘兩巨頭檢舉後續々檢舉の手を廣め、秘密結社員中逮捕されたるもの實に二十數名に上る云はる。内

蘇業榮、辜俊英の二名の如きは去る十七日王、精速捕後之が釋放運動に活躍し居りし者なるが危険の其の身に及べるを關知行方を晦まして居たが探査嚴重の爲め遂に逃れ得ざるを知り自首せりと言はれ當局彈壓の峻嚴さを物語るものである。

今般の當局の採りし此の強硬手段の原因に就ては未だ何等發表を見るに至らないが此等抗日團は過去一箇年間に亘り凡ゆる脅迫手段を以て殖民地の安寧秩序を壊亂せしは蔽ふべからざる事實なるのみならず七月初め以來市内及半島各地に續發せる各種労働争議も全く此等抗日團員の裏面策動に外ならざりし確證あるに依るものも傳へられてゐる。

市内及半島各地に於ては依然釋放運動繼續され居り、或は相當惡質なる示威行動をも採らるゝに至るやも難計なく、從來抗日運動に對し煽動的態度を持し居りし總領事館及中華總商會並に漢字紙等は政府の態度に狼狽、俄か

に不法行爲を排撃し華僑の自衛を戒しめ居る状態なれば今後此等逮捕者の罪狀明白となり、抗日團の正體暴露され嚴重處断さるゝに至らばさらぬだに不當な日貨排斥の強制又は脅迫的献金募集等に絶えず悩まされたる一般華僑としては漸次抗日運動より解放さるゝに至るべく當方面抗日運動も次第にやみ遠からず明朗化するには非ざるかを期待さる。

六 香港華僑 遂に閉店

香港綿糸取扱支那商は最近日本品又は北支品殆んど絶し品質悪く高價なる印度品が之に代つた爲商賣全く不振に陥り倒産するもの續出の有様にて香港に於ても老舗にして第一流に屬する永記號の如きも最近遂に閉店の止むなきに至り今後同業者の閉店するもの多數に上らん云はれてゐる。



臨時情報部

八月二十六日

- 六安街道を猛進しつゝ、ある我が快速部隊は東二十里埔(六安東方約二里)を占領せり。
- 我が空軍部隊の活躍……
 - 陸の軍——南昌より德安街道を北進する敵の増援隊を爆撃。
 - 海の荒鷲——長沙及び粵漢、廣九兩鐵路の各驛を襲ひ、殊に廣東に於ては黃沙停車場を完全に破壊せり。
- 最近武漢三鎮は間斷なき我が空軍の爆撃ミ打撃く猛烈なる暑熱の爲近代都市としての面影は更になく

住民は全く不安な焦熱の地獄に喘ぎ居るが如き状態なり。

八月二十七日

- 黃梅を攻略してより久しく機會を窺ひつゝ、ありしが江北部隊は本日突如進撃を開始し忽ち同地北方三里大別山脈の南に連る高地一帯を占領し更に敗走の敵を追撃中なり。
- 廬山周邊の敵を攻撃中の我が軍は星子及び瑞昌兩方面よりする作戦の進展に乗じ陸、海軍機協力の下に一齊總攻撃を開始し激戦中なり。
- 我が海軍航空隊瑞昌西北方の敵砲兵陣地及び馬廻嶺附近の敵増援部隊を爆撃せる外南支に於ては粵漢線數箇所及び南雄飛行場を爆撃せり。
- 我が空中よりの偵察によれば既に德安の危機切迫せるを感ぜし敵は馬廻嶺、黃老門方面の陣地に於て我が軍の進撃を阻止せんを頻りに兵力を集結中なり。

八月二十八日

1. 六安占領
我が軍の意氣正に天を衝くが如し。

2. 雲山危し！

我が軍一齊總攻撃開始、城外僅か一里に肉薄せり。

3. 揚子江に沿ひ赤湖北岸を進撃しつ、ある我が軍は逐次前面の敵を撃破同方面の敵は今や全く我が制壓下にあり。

4. 鳳陵渡占領

山西南部の掃蕩既に成れり。

(同地は山西省の最南端に位し黄河を距て、瀘関に相對す。)

八月二十九日

1. 長くも竹田宮恒徳王殿下には北支戦線に御活躍遊ばされ輝かしき御武勳を樹てさせれ將兵一同前く感激し居れり。

2. 霍山城を包圍攻撃中の我が軍遂に北門外市街の一部を占據、目下城内の敵ミ交戦中なり。

3. 瑞昌方面より南進し山岳地帯の敵を猛攻中の我が

軍は飛行部隊ミ記録的な協力の下に一陣又一陣遠く敵を南昌方面に制壓中なり。

4. 我が海の荒鷲大舉東山(漢口西北)を空襲、極めて有效なる爆撃を敢行、全市に散在する重要軍事施設及敵作戦本部を悉く粉碎せり。

八月三十日

1. 雲山完全占領

大別山東北麓の敵要衝次々に陥落す。

2. 六安攻略後なほも西進を續ける我が快速部隊は同地西南方八里の獨山鎮を占領せり。

3. 廣濟總攻撃

黄梅より西進大別山南麓の敵を撃壊しつ、廣濟に肉薄せる我が軍は愈々一齊總攻撃を開始せり。

4. 德安に向け南進中の我が軍は馬鞍山一帶の敵約二十萬に對し將に一大殲滅戦を開始せんミし敵の生命線武漢防衛江南第一線山岳陣地も刻々に覆滅の悲運に陥りつ、あり。

5. 豫て安徽省蚌埠方面に於て好機を窺ひつ、ありし

九月一日

1. 江北の我が快速部隊は洪家集より更に烏龍廟に達し同地を完全に占領、又獨山鎮を攻略せる部隊は安徽、湖北省境の要地葉家集を占領せり。

2. 東孤嶺方面の戦況は漸次我が方に有利に進展し敵の左翼の據點を奪取引續き戦果を擴張中なり。

3. 黄河北岸を清掃、次期作戦に移るべく諸般の準備を整へつ、ありし我が軍は今や全く攻堅態勢成り附近第三國人及び一般民衆に至急立退き方を勸告せり。

九月二日

1. 廣濟街道を猛進中の我が軍は逐次前面の敵を撃破早くも城外僅か三里に肉薄せり。

2. 南潯鐵路を南下猛進中の我が軍は壯烈なる山岳戦に於て見事敵大部隊を撃滅、なほも勢ひに乗じ馬廻嶺二軒半の近くまで進撃せるを以て同地の陥落も只時間の問題なれり。

3. 東孤嶺完全占領、山頂高く日章旗を翻へせり。

我が部隊は本日突如行動を起し船團を連れて續々淮河を溯航し始めたり。

6. 海の荒鷲：縱横無盡の活躍！

イ、中支方面—陸軍及び江上艦艇の作戦に協力株州、長沙、廬山西方地區、赤湖西方地區の敵を猛烈に爆撃せり。

ロ、南支方面—粵漢線數箇所及び南雄飛行場を爆撃せり。

なほこの南雄空襲に於ては敵機全部十七機を撃墜せるも我方も亦二機を失ひたり。

八月三十一日

1. 六安より西進徐家集を抜ける我が軍は早くも同地北方洪家集を占領せり。

2. 廣濟總攻撃の我が軍は大河舖を突破更に敵を急追して双城驛約六軒の地點に進出せり。

3. 星子攻略後同地西方東孤嶺の嶮に據り抵抗する敵に相對せる我が軍は今朝來一齊攻撃を開始し空軍部隊ミ協力壯烈なる立體戦を行ひつ、あり。

4. 淮河通航部隊、鳳臺に進出せり。



4. 海の荒鷲梧州攻撃部隊は敵の精銳廣西の新鷹隊を悉く撃滅極めて有効なる爆撃の後悠々凱歌をあげて歸還せり。
 5. 淮河遼江部隊早くも正陽關附近に進撃せり。
- 九月三日
1. 烏龍廟より更に前進を続けつゝ、ある我が軍は遂に河南省に突入固始東南方十里の黎家集を占領せり。
 2. 馬廻嶺占領、德安へ僅か九杆に迫る——
廩山東側奇襲部隊も相呼應して進撃、南下部隊も協方更に戦果を擴張中なり。
 3. 揚子江南岸地區を猛進中の我が石本、平田、中島部隊は突如赤湖西南岸の武山を襲ひ天嶮により頑強に抵抗する敵と激戦中なり。
- 九月四日
1. 黎家集を陥れたる我が軍は續々史河の敵前渡河を執行潰走の敵を追ひて南大橋に達し同地を占領、固始まで二里半に進出せり。
 2. 東孤嶺を陥れたる我が軍は愈々隘口街本道に進み敵の主力陣地を側面より攻撃しつゝ、あり。
 3. 江北各部隊の進撃に呼應し隨海線方面に在りし我が

- が新銳部隊突如行動を開始し河南省太康城（柘城西方約四十杆）を占領せり。
- 九月五日
1. 廣濟城の陥落迫る——
廣濟攻略を目指し連日猛攻を続けつゝ、ある我が軍は二〇三高地にも優る敵堅壁を次々に占領同地六杆の地點よりこれを眼下に見下し一氣に陥れんこの態勢にあり。
 2. 固始縣城に迫る、
我が固始攻略部隊同地西南方四杆に肉薄せり。
 3. 南潯線を德安に向け一路南下中の我が軍は馬廻嶺東南約一里半の地點に於て我が進撃を阻止せん此の敵と猛烈なる戦闘を開始せり。
 4. 柘城よりの進撃部隊に呼應し歸德方面より行動を起せる我が部隊は大廉南方の要地淮陽（陳州）を占領すはも前進中なり。
 5. 我が海軍航空隊の活躍……
1. 中支方面—各戦線に於ける陸軍部隊の作戦に協力せる外岳州、信陽、南昌等を徹底的に爆撃せり。
2. 南支方面—粵漢鐵路各所を爆破切斷せり。

昭和十三年九月十九日印刷
昭和十三年九月二十一日發行
(月三回發行)

臺灣總督府臨時情報部

印刷人 臺北市榮町二丁目十五番地
加藤 豊吉
印刷所 臺北市京町二丁目四十三番地
小塚本店印刷工場

郵報
昭和十二年九月二十日第三種郵便物認可
昭和十三年九月二十一日發行
(每月一日、十一日、廿一日發行) 第三十八號

734